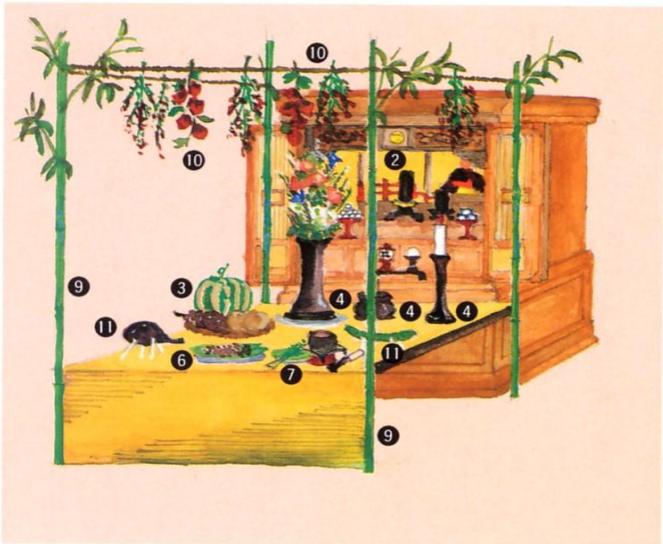


仏壇をもちいた飾り方の一例



精霊棚しやうりようだなを飾りましょう

精霊棚はお盆の間、御先祖様がお泊まりになる処ところです。感謝の心をこめて、飾かざって下

さい。

①お曼茶羅まんだら

②お位牌いはいはい

③お供物—麵類めんるい（ソーメン、うどんなど）、水菓  
子、果物等。

④三具足さんぐそく—左から華・香炉・灯明

◆お盆は、正式には「盂蘭盆会」といい、お釈迦様の弟子・目連尊者の母が餓鬼道に落ち苦しんでいるところを『お前の母は、自分の息子を可愛がる余り、人に施しをすることをせず、そのために餓鬼道に落ちたのだ』と諭され、お釈迦様のみ教えどおり、諸仏衆に供養することによって、母を餓鬼道から救うことが出来たことに由来し、各家ご先祖の精霊を含めた、全ての餓鬼に飲食を施し、全ての生きとし生けるものの生命に感謝の誠を捧げる行事です。これを仏教では、「お施餓鬼」と呼び、施物供養の功德を説くものです。

◆お盆にはお寺参り、墓参し、木羽仏様をいただきますが、

木羽仏には、(南無妙法蓮華經 此食色香味 上献十方仏 中奉諸賢聖 下及六道品)

と、法華礼誦要文集からの経文を戴いたもので、『いま、私たちが頂く食事に際し、先ずは仏恩に報謝し、仏及び諸の賢聖に供養し、更には地獄・餓鬼・畜生等の幽鬼界に施して、後に食事をいただく』と、つまり、食事一つにとっても、全てへのホドコシを徳目とすることを教わるものです。

◆精霊棚とは、お盆に私たちの家に帰ってくると云われるご先祖様の霊をお迎え、そして、おもてなしする場所を意味します。

◆どうぞ各お家のご仏壇の前に精霊棚を飾り、「木羽仏」様を並べて施物供養の心を養って下さい。

